



第26巻

目次

論文

保育の市場化によって保育の質は上がるのか.....	大倉 得史... 1
ホワイト・クリスマス、カポーティ、雲雀の舞い唄 ——村上春樹『風の歌を聴け』における《虚偽》の詩学——	小島 基洋... 17
居場所型デイケアのもつ可能性 ——〈私〉が〈育つ〉場の治療——	近藤 真帆... 29
被爆地広島における「継承」の変遷 ——1970-80年代の『中国新聞』に着目して——	鈴木 裕貴... 47
『盗まれた手紙』についてのセミナーから「レトウルディ」へ ——ハイデガーの「アレーティア」へのラカンの解釈をめぐる——	山崎 雅広... 61
是枝裕和『海街diary』における記憶表象と観客の次元 ——フラッシュバックの排除と視線の等方向性——	伊藤 弘了... 75
芥川也寸志の映画音楽語法の変遷 ——テーマ音楽の強調とモチーフの流用に着目して——	藤原 征生... 91
効果的なファカルティ・ディベロップメントの条件を考察する ——デュイの反省的注意とセネットのクラブツマンシップ——	谷川 嘉浩...107
アドルフ・ロースの室内空間 ——素材とその効果を中心に——	岸本 督司...119
ルカ・ジョルダノの『聖母子と煉獄の魂』 ——17世紀ナポリ人画家と新キリスト教徒の国際的ネットワーク——	小松 浩之...131
日本語の複合動詞における後項動詞とロシア語の動詞接頭辞との対応関係について ——語彙的複合動詞を構成する「～たつ」「～たてる」の場合—— アブラギモヴィチ・ユーリヤ...145
「リトルロックに関する考察」再考 ——アメリカ黒人の文化的伝統に対するアーレントの理解と誤解——	大形 綾...155
ジョン・ロールズの「自尊の社会的基盤」の検討.....	栗村亜寿香...171
マイケル・ウォルツァーの介入論の研究を通じた jus ad vim の再考.....	矢持 力...183
1945年以降の日系アメリカ人の原爆に関する公的記憶.....	内野クリスタル...197
尾崎翠「第七官界彷徨」論 ——「蘇の恋」をめぐる——	山根 直子...217
トマス・ハーディの詩における2人の墮落した女たち ——“The Woman I Met”と“The Chapel Organist”——	永盛 明美...229
「仕事と子育ての両立支援政策」が想定する政策対象者とは ——内閣府男女共同参画局「仕事と子育ての両立支援策に関する 専門調査会」議事録の分析より—— 安藤加菜子...239
空き家問題における政策の受容可能性 ——受容可能な政策の形成手法の検討—— 吉川 和扶...255
博士学位一覧	271
修士論文題目一覧	281
総合人間学部卒業論文題目一覧	291

2017

京都大学大学院 人間・環境学研究所

本誌に関する連絡は下記宛に願います。

606-8501 京都市左京区吉田二本松町
京都大学大学院 人間・環境学研究科
機関誌編集委員会

All correspondence concerning this publication should be addressed to:

The Editorial Board
Graduate School of Human and Environmental Studies
Kyoto University
Kyoto 606-8501, Japan

本巻編集委員

松田英男（委員長）、佐藤義之、佐野 宏、大黒弘慈、高橋弘樹、山村亜希、吉江 崇

『人間・環境学』 投稿要領

(2009年12月1日 編集委員会作成)

1. 投稿資格

- 1-1. 当研究科に関わる教職員と当研究科に在籍する学生に限る。ただし当研究科に関わる教職員の共著者として、それ以外の者を含むことができる。

2. 投稿規定

- 2-1. 原稿の種類は論文、研究ノート、展望、資料、その他とし、未発表のものに限る。
- 2-2. 原稿の採否は複数のレフェリーによる審査を経て決定する。
- 2-3. 編集委員会は著者に原稿の修正を求めることができる。
- 2-4. 原稿は横書きを原則とする。ただし内容の性質上どうしても縦書きでなければならない場合はこの限りではない。
- 2-5. 原稿はコンピュータで作成・印刷し、CD-Rなど電子記録媒体を添える。メールでの添付ファイルによる提出は不可。なお原稿はA4版とし、和文の場合は1行40字×30行、欧文の場合は30行で印刷すること。3部提出する。使用ソフト（WORDなど）を明記すること。
- 2-6. 外国語で書かれたものは、native speakerによるチェックを受けておく。
- 2-7. 原稿の長さは、本文、註、要旨、図・表等すべてを含めて刷り上がり14頁以内とする。刷り上がり（印刷形式）については3-2を参照のこと。尚、文字のみで図・表が一切無い原稿の場合には、400字詰原稿用紙で65枚以内となる。
- 2-8. 日本語「要旨」および、原則として、英文 Summary を付ける。その他の言語による「要旨」を付けることもできる。それぞれ、刷り上がりで半頁以内とする。
- 2-9. 注や引用文献などは原稿の末尾にまとめる。
- 2-10. カラー印刷等、印刷製本において余分にかかる費用は著者の負担とする。
- 2-11. 掲載原稿については、京都大学学術情報リポジトリに登録・公開するものとする。ただし、執筆者からの要望によって論文を公開しないことも可能である。また、公開の諾否の確認は掲載決定後に行うので、審査に対する影響は一切無い。

3. 印刷形式

- 3-1. 版型はB5版とする。活字は9ポイントを標準とする。
- 3-2. 欧文および和文横書きの場合は左右2段組・縦長頁とする（1段の収容字数は、和文の場合22字×42行、欧文の場合50行）。和文縦書きの場合は、右開きを先頭にし、2段組とする（収容字数未定）。
- 3-3. 細部については最新号を参照されたい。

4. 別刷り

- 4-1. 50部まで無償とする。これを越える部数（50部単位）については、著者の負担とする。

5. 『人間・環境学』第27巻原稿締切り

- 5-1. 平成30（2018）年3月30日（金曜日）
- 5-2. 投稿者は上記の期日までに、所定の投稿票（編集委員会より配付）の関係事項にすべて記入し、原稿とともに提出すること。

〈編集後記〉

本年度も多数の投稿があり、本研究科の複数の教官による厳しい審査を経て、充実した一冊に結実いたしました。投稿された皆様、論文の査読に御協力いただいた諸先生方、そして、学位一覧等の作成および原稿の受け渡し・送付などあらゆる面で支えていただいた事務官の皆様に、厚く御礼申し上げます。

博士学位一覧の論文要旨につきましては、京都大学学術情報リポジトリ (KURENAI) をご覧ください。 <http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/> です。同サイトでは京都大学全体の学術情報を読むことができます。是非、ご活用下さい。

尚、大学院生の論文の掲載順序につきましては、例年通り、指導教官の講座・分野の順としています。(松田記)

人間・環境学 第26巻

2017年12月20日発行

発行者 杉山雅人

606-8501 京都市左京区吉田二本松町
京都大学大学院 人間・環境学研究科

印刷者 明文舎印刷株式会社

601-8316 京都市南区吉祥院池ノ内町10

Human and Environmental Studies

Volume 26

Issued on 20 December 2017

Published by SUGIYAMA Masahito

Graduate School of Human and Environmental Studies

Kyoto University, Kyoto 606-8501, Japan

Printed by Meibunsha Printing Co., Ltd., Kyoto, Japan

©2017 京都大学大学院 人間・環境学研究科

Human and Environmental Studies

Vol. 26

CONTENTS

Originals

Can Marketization of Early Childhood Education and Care Ensure its Quality?	Tokushi OKURA... 1
White Christmas, Capote, and the Flight Song of Skylarks — The Poetics of “Falsification” in Haruki Murakami’s <i>Hear the Wind Sing</i>	Motohiro KOJIMA... 17
Possibilities held by “the place of dwelling” model of day care — The treatment place of “development” of “self”	Maho KONDO... 29
The Meaning and the Social Background of Storytelling Activity in Hiroshima — Focusing on the 1970–80s Issues of Local Newspaper <i>Chugoku-Shimbun</i>	Yuki SUZUKI... 47
De <i>Le séminaire sur «La Lettre volée» à L’étourdit</i> — Autour des interprétations lacaniennes de l’alétheia chez Heidegger	Masahiro YAMAZAKI... 61
Memory Representation and Spectatorship in <i>Umimachi Diary</i> — Elimination of Flashback and Parallel Looks	Hironori ITOH... 75
The Transition of Musical Expression in Yasushi Akutagawa’s Film Music — Paying Attention to Emphasis on Theme Music and Conversion of Motifs	Masao FUJIWARA...91
Investigations into the Bases of the Effective Faculty Development — John Dewey on the “Reflective Attention” and Richard Sennett on the “Craftsmanship”	Yoshihiro TANIGAWA...107
Interiors designed by Adolf Loos — with a focus on materials and their effects	Masashi KISHIMOTO...119
Luca Giordano’s <i>Madonna and Child with Souls in Purgatory</i> — The Seventeenth-century Neapolitan painter and international network of New Christians	Hiroyuki KOMATSU...131
The Semantic Correspondence between Second Verbs of Japanese Compound Verbs and Russian Verb Prefixes — Case of “-TATSU/-TATERU” — second part of lexical compound verbs	Yuliya ABRAHIMOVICH...145
Rethinking “Reflection on Little Rock” — What Arendt Understood and Misunderstood on the Cultural Tradition of African Americans	Aya OGATA...155
An Examination of John Rawls’s ‘Social Bases of Self-Respect’	Asuka KURIMURA...171
The Political Aspect of <i>jus ad vim</i> — Consistency in Michael Walzer’s Theory of Intervention	Riki YAMOCHI...183
Representing Atomic Memory in the Japanese American Public Sphere Since 1945	Crystal UCHINO...197
A study of “Wandering in the Seventh Sense World” by Midori Ozaki — through the moss’s love	Naoko YAMANE...217
Two Fallen Women in Thomas Hardy’s Poems — “The Woman I Met” and “The Chapel Organist”	Akemi NAGAMORI...229
The Image of Mothers in the Policy Making Process of Working-Childcare Balance — Analyzing the Proceedings of the Gender Equality Bureau Cabinet Office’s Council for Working-Childcare Balance Policies	Kanako ANDO...239
Public Acceptability of the Vacant House Policy — For Making the Acceptable Policy	Kazusa YOSHIKAWA...255
Titles of Ph. D. Dissertations	271
Titles of Master’s Theses	281
Thesis Titles of Recent Graduates of the Faculty of Integrated Human Studies	291

2017

Graduate School of Human and Environmental Studies

KYOTO UNIVERSITY